

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔 事務・事業の概要 〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号																																										
款	10	教育費	1 目的及び効果 社会教育委員は、社会教育法に基づく設置となっており、社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、次の職務を行います。 (1)社会教育に関する諸計画を立案すること。 (2)定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べること。 (3)上記の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。 2 事業主体 厚真町教育委員会 3 事業内容及び対象者等 (1)社会教育委員の会開催（定例 年2回、会議内容／社会教育事業の取組内容と意見の具申、その他）207千円 (2)管内社会教育委員研修会への参加（副委員長）2千円 (3)全道社会教育研究大会への参加（委員長）69千円 (4)北海道社会教育連絡協議会負担金の納入 42千円 (5)胆振管内社会教育委員連絡協議会負担金の納入 3千円 4 その他事項 (1)委員数 14名 (2)委員構成 学校教育関係者 2名 社会教育関係者 6名 学識経験者 3名 家庭教育関係者 3名	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>309</td> <td>261</td> <td>254</td> <td>323</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>-48</td> <td>-7</td> <td>69</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	309	261	254	323		対前年比		-48	-7	69		201																								
年度	H19	H20		H21	H22	H23																																											
決算額	309	261		254	323																																												
対前年比		-48		-7	69																																												
項	4	社会教育費		☆ 指標で表せない効果等 特記なし			社会 教育 委員 費																																										
目	1	社会教育総務費		☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	③	4	5	事業内容	1	2	③	4	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	③	4	5	総体	1	2	③	4	5
	要改善	要検討		妥当	良好	的確																																											
準備等	1	2		③	4	5																																											
運営面	1	2		③	4	5																																											
事業内容	1	2		③	4	5																																											
財政面	1	2	③	4	5																																												
目的達成度	1	2	③	4	5																																												
総体	1	2	③	4	5																																												
節		金額（千円）	☆ コメントによる評価 法令に基づく条例設置であり、特に教育委員会からの諮問案件が無い年度においては、このような事業内容での継続が妥当と考えます。			〔事業方向性〕																																											
1 報酬		256	点検・評価にあたって特記する事項等 委員数については、設置条例で15名以内となっており、平成21年度から1名減の14名としていますが、現状においては妥当と考えます。			継続																																											
9 旅費		31				〔予算方向性〕																																											
11 需用費		4				継続																																											
19 負担金補助及び交付金		45				事業開始年度																																											
計		336				昭和52年度																																											
補助金等の有無		有・無				事業終了（予定）年度																																											
〔有の場合〕																																																	
名称																																																	
金額																																																	
〔事務・事業の写真等〕																																																	

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	法令に基づく条例設置での事業内容であり、自己評価については妥当であると考えます。
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号																																							
款	10	教育費	1 目的及び効果 青少年健全育成委員会は、教育委員会の附属機関として条例に基づく設置となっており、教育委員会の諮問に依りて、青少年の健全育成に関する重要事項を調査審議し、又は意見を具申する組織となっています。 なお、この事業では、地域及び町ぐるみで青少年健全育成を図る各種取り組みが行われています。	2 事業主体 厚真町教育委員会	3 事業内容及び対象者等 (1)青少年健全育成委員会の開催（定例 年1回）43千円 (2)胆振管内青少年育成運動指導員会議への出席（委員長）8千円 (3)北海道青少年育成大会への参加（委員長）9千円 (4)青少年健全育成の集いの開催（小中学校児童・生徒、教育関係者ほか） (5)子どもを守る「ひなんの家」のほり作成・設置 80千円 (6)子ほめ運動ポスター作成・掲示 31千円 (7)児童・生徒夜間巡回指導（田舎まつり、厚真神社例大祭） (8)育成委員会だより、夏季・冬季休業中の児童生徒の生活のきまり発行（年2回）32千円 (9)胆振東部青少年補導連絡協議会負担金の納入 9千円	4 その他事項 (1)委員数 11名 (2)委員構成 関係行政機関の委員及び職員 2名、教育機関及び青少年関係団体の代表 7名、学識経験者 2名	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>249</td> <td>241</td> <td>202</td> <td>212</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>-8</td> <td>-39</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	249	241	202	212		対前年比		-8	-39	10		202																				
年度	H19	H20						H21	H22	H23																																				
決算額	249	241						202	212																																					
対前年比		-8						-39	10																																					
項	4	社会教育費																																												
目	1	社会教育総務費																																												
節		金額（千円）																																												
1 報酬		64																																												
9 旅費		7																																												
11 需用費		148																																												
19 負担金補助及び交付金		9																																												
計		228																																												
補助金等の有無		有・無																																												
〔有の場合〕			☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	③	4	5	事業内容	1	2	3	④	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	3	④	5	総体	1	2	③	4	5	青少年健全育成委員会委員費 〔事業方向性〕 継続 〔予算方向性〕 継続 事業開始年度 平成6年度 事業終了（予定）年度
	要改善	要検討		妥当	良好	的確																																								
準備等	1	2		③	4	5																																								
運営面	1	2		③	4	5																																								
事業内容	1	2		3	④	5																																								
財政面	1	2		③	4	5																																								
目的達成度	1	2		3	④	5																																								
総体	1	2		③	4	5																																								
名称																																														
金額																																														
〔事務・事業の写真等〕																																														
点検・評価にあたって特記する事項等																																														
「青少年健全育成の集い」は、毎年7月の「子ほめ運動強調月間」（町）、「社会を明るくする運動」（法務省）、「青少年の非行防止道民総ぐるみ運動」（北海道）に合わせて実施していましたが、児童・生徒の参加スケジュールの関係上、集会形式での開催の見直しについて校長会から要望があったことから、次年度以降はメッセージ伝達形式に変更となりました。																																														

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	教育委員会の附属機関として条例設置での事業内容であり、自己評価は妥当と考えます。 なお、次代を担う青少年の健全育成のため、今後も事業の推進を願います。
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	3	④	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	3	④	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号																																								
款	10	教育費	1 目的及び効果 厚真町の特性と独自性を生かし、町民の多様な学習要求や時代の変化に対応した総合的な生涯学習を推進するとともに、その体系化を図ることを目的としています。 これにより、「町民の生涯学習に関するニーズの調査、把握」「生涯学習事業の企画、立案、実施に関する援助」「社会教育団体の育成及び援助」「家庭教育相談に関すること」「図書活動に関すること」「講座、学級等の開設に関すること」、その中でも生涯教育事業の開設や社会教育団体の育成・援助に対しての職務は大きいものとなっています。 2 事業主体 厚真町教育委員会 3 事業内容及び対象者等 (1)アドバイザー設置経費（1名分）2,040千円 (2)業務内容 ①少年教育振興事業／きのご植菌体験事業、わくわく探検隊、遺跡発掘体験、ハロウィンパーティー、図書フェスティバル ②厚真町文化協会事業／事務局業務（会計・庶務）、管内総会出席、文化祭、カルチャーバス ③厚真町子ども会育成連絡協議会事業／事務局業務（会計・庶務）、管内総会出席、かるた大会（苫小牧市開催）、スポーツ大会参加 ④厚真町スポーツ少年団育成連絡協議会事業／事務局業務（会計・庶務）、管内総会出席 ⑤図書推進活動事業／青少年センター図書室管理及び読書推進、小学生読書感想文コンクール開催等 ⑥厚真町学校支援事業のコーディネーター業務	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>3,302</td> <td>3,083</td> <td>2,004</td> <td>2,027</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>-219</td> <td>-1,079</td> <td>23</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	3,302	3,083	2,004	2,027		対前年比		-219	-1,079	23		203																							
年度	H19	H20		H21	H22	H23																																									
決算額	3,302	3,083		2,004	2,027																																										
対前年比		-219		-1,079	23																																										
項	4	社会教育費		☆ 指標で表せない効果等 各種職務を果たしており、評価は高いと考えます。 ☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	③	4	5	事業内容	1	2	③	4	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	③	4	5	総体	1	2	③	4	5	生涯学習アドバイザー設置事業 〔事業方向性〕 継続 〔予算方向性〕 継続 事業開始年度 平成5年度 事業終了（予定）年度
	要改善	要検討			妥当	良好	的確																																								
準備等	1	2			③	4	5																																								
運営面	1	2			③	4	5																																								
事業内容	1	2			③	4	5																																								
財政面	1	2			③	4	5																																								
目的達成度	1	2	③		4	5																																									
総体	1	2	③		4	5																																									
目	1	社会教育総務費																																													
節		金額（千円）																																													
4共済費		251																																													
7賃金		1,789																																													
計		2,040																																													
補助金等の有無		有・無																																													
〔有の場合〕																																															
名称																																															
金額																																															
〔事務・事業の写真等〕			点検・評価にあたって特記する事項等 生涯学習アドバイザーの機能を果たすためには、各種団体の事務局だけでなく、厚真町生涯学習アドバイザー設置に関する規則の第4条でアドバイザーは、生涯学習に関して豊かな見識と優れた技術指導を有する者で各事業について、アドバイスをし、住民のニーズに答えることが必要であるとされています。そのためには、現在行っている各団体の会計事務等はアドバイザー業務から外すことが妥当と考えます。																																												

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	厚真町が独自の事業として行っている生涯学習アドバイザーの設置については、業務内容も多岐に亘ったものとなっており、社会教育振興のために大変有効な事業であると考えます。
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号																																								
款	10	教育費	1	社会教育費	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>390</td> <td>389</td> <td>341</td> <td>375</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>-1</td> <td>-48</td> <td>-34</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	390	389	341	375		対前年比		-1	-48	-34		204																						
年度	H19	H20					H21	H22	H23																																						
決算額	390	389					341	375																																							
対前年比		-1	-48	-34																																											
項	4	社会教育費	1 目的及び効果 発達段階に応じた様々な体験活動を通して、厚真町が目指す心豊かでたくましい子どもの育成、明日の地域を想い自ら考え行動できる青少年の育成を図ることを目的としています。		少年教育振興一般事業																																										
目	1	社会教育総務費	2 事業主体 厚真町教育委員会																																												
節		金額(千円)	3 事業内容及び対象者等 (1) きのご植菌体験学習／厚真町の産業である「きのご栽培」を通じ親子のふれあい、郷土の自然の豊かさ、植物の成長する喜びを学習する。 (5月8日 46名) 35千円 (2) わくわく探検隊／幌内マナビィハウスを拠点に集団宿泊体験や、長距離遠足、火おこし、野外炊事などの体験活動を通じ、自主性や社会性、忍耐力等を身に付けるとともに、郷土愛とたくましく生きる力を育む。 (7月29日～30日 12名) 35千円 (3) 遺跡発掘体験学習／厚真町で調査中の遺跡を発掘体験や縄文土器づくり体験を通じ、郷土の歴史や古代人の生活を学習する。 (8月7日 9月18日 13名) 5千円 (4) 星空観察会／青少年センター天文台を活用し、天体や天文現象の観測活動を通じて、科学に関する興味を喚起するとともに、天体観測が可能な環境の豊かさを知る。(10月9日 55名) 5千円 (5) ハロウィンパーティ／英語指導助手を中心に近隣の外国人ボランティアの協力を得て、英語圏の代表的な行事であるハロウィンを通じ、外国人と気軽に触れ合い、国際理解を深める機会を提供する。 (10月29日 102名) 30千円 (6) 1日図書フェスティバル／北海道立図書館と連携した図書の企画展示や、仕掛け絵本、大型絵本の閲覧、読み聞かせ会等を通じて、子どもが図書にふれあい、読書意欲を喚起する切っ掛けづくりとする。 (11月3日 133名) (7) 子ども会育成連絡協議会補助金／地域子ども会相互の連絡調整を図るとともに、各種活動を通して地域子ども会の発展と青少年の健全な育成を目的とした団体補助金。(3団体66名) 263千円																																												
8報償費		15			☆ 指標で表せない効果等 例年参加者が集まりにくい発掘体験学習だが、発掘作業の体験のみならず、縄文土器づくり体験を加え、2回シリーズとして実施したことで学習効果が深まりが生まれた。また、土器の焼成場所として浜厚真海岸を利用したことで、これまで日常生活にあまり縁のなかった“海”とつながるきっかけを作ることができました。																																										
11需用費		110																																													
19負担金補助及び交付金		263																																													
各体験事業により参加負担金あり、主に保険料					☆ 事業評価(自己評価) ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	3	④	5	運営面	1	2	3	④	5	事業内容	1	2	③	4	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	③	4	5	総体	1	2	③	4	5
	要改善	要検討	妥当	良好		的確																																									
準備等	1	2	3	④		5																																									
運営面	1	2	3	④	5																																										
事業内容	1	2	③	4	5																																										
財政面	1	2	③	4	5																																										
目的達成度	1	2	③	4	5																																										
総体	1	2	③	4	5																																										
計		388			☆ コメントによる評価 募集定員を上回る、または、ほぼ定員に達する事業(きのご植菌、ハロウィン)がある反面、募集定員を下回る事業(わくわく探検隊、遺跡発掘体験)もあった。子どもの実態に応じた新たなニーズを探り、魅力ある内容へと工夫・刷新していく必要があります。																																										
補助金等の有無		有・無																																													
〔有の場合〕																																															
名称					〔事業方向性〕 継続 〔予算方向性〕 継続																																										
金額																																															
〔事務・事業の写真等〕																																															
			点検・評価にあたって特記する事項等 ・少年教育事業は、子どもたちの日常生活における体験不足という課題に対応する大きな役割を担っています。より多くの子どもたちが質の高い体験の機会を享受できるよう、今後もさらなる充実を図っていきます。 ・子ども会育成連絡協議会補助金については、活動経費面での支援も必要ですが、少子化による会員減少により、単会組織の維持自体が難しくなっているため、子ども会育成連絡協議会との適切な連携のもと、あらたな運営方を検討していく必要があります。		事業開始年度																																										
					事業終了(予定)年度																																										

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	3	④	5	少年教育において、体験型事業は大変有効であると考えます。子どもが興味を持つような事業の取り組みや、今後も発掘体験などの郷土の歴史に触れられる事業の推進を図っていただきたい。
運営面	1	2	3	④	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			グループ名	社会教育グループ	事業番号																																																																	
款	10	教育費			206																																																																	
項	4	社会教育費			事業 業務 名名																																																																	
目	1	社会教育総務費																																																																				
節		金額(千円)			成人祭 開催 事業																																																																	
8報償費		170																																																																				
11需用費		10																																																																				
12役務費		4																																																																				
計		184																																																																				
補助金等の有無		有・ 無																																																																				
〔有の場合〕																																																																						
名称																																																																						
金額																																																																						
〔事務・事業の写真等〕																																																																						
〔事務・事業の概要〕			<p>☆ 決算額の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">決算額の状況</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>198</td> <td>285</td> <td>230</td> <td>158</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>87</td> <td>-55</td> <td>-72</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>☆ 指標で表せない効果等 特記なし</p> <p>☆ 事業評価(自己評価)</p> <p>☆ 点数による評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的 確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総 体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>☆ コメントによる評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・式典では秩序を乱す成人者もおらず、肅々と執り行われたのが良かったと思います。 ・町として成人者をお祝いする式典なので、継続が妥当と考えます。 		決算額の状況						年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	198	285	230	158		対前年比		87	-55	-72			要改善	要検討	妥当	良好	的 確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	3	④	5	事業内容	1	2	3	④	5	財政面	1	2	3	④	5	目的達成度	1	2	3	④	5	総 体	1	2	3	④	5
決算額の状況																																																																						
年度	H19	H20	H21	H22	H23																																																																	
決算額	198	285	230	158																																																																		
対前年比		87	-55	-72																																																																		
	要改善	要検討	妥当	良好	的 確																																																																	
準備等	1	2	③	4	5																																																																	
運営面	1	2	3	④	5																																																																	
事業内容	1	2	3	④	5																																																																	
財政面	1	2	3	④	5																																																																	
目的達成度	1	2	3	④	5																																																																	
総 体	1	2	3	④	5																																																																	
<p>1 目的及び効果</p> <p>20歳を迎えた町内在住者及び町内出身者の成人を祝い、成人者が社会や郷土の発展のため研鑽を積み、成人としての責任と自覚を持ってもらうことを目的に開催するものです。</p> <p>2 事業主体</p> <p>厚真町教育委員会</p> <p>3 事業内容及び対象者等</p> <p>【対象者】</p> <p>平成2年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた、本町に住民票を置いている成人者及び成人者本人が町外に転出していても、保護者等が本町に在住している成人者。</p> <p>対象者：男性28人、女性32人 計60人 出席者：男性17人、女性25人 計42人</p> <p>【内容及び経費】</p> <p>式典(14千円)、記念写真撮影(124千円)、アトラクション(厚真塊打太鼓)(20千円)</p>			<p>点検・評価にあたって特記する事項等</p> <p>式典後のアトラクションは例年好評ですので、今後も継続していきたいと考えています。DVD上映については、総合福祉センターの耐震改修工事により、会場が厚南会館へ変更となったことから今年度は中止しました。来年度以降については、まちづくり推進課とも協働し、定住促進等のPRにも努めていきたいと思ひます。</p> <p>交流会については、過去の参加者から意見を聞いたところ「式典後は親戚への挨拶や写真撮影、同窓会等の予定が入っているので、式典後すぐ帰宅したかった」という意見が複数あったため中止とし、代わりにお祝いのお菓子を配布しました。特に不滿意見や混乱等もなく、費用(人件費等も含む)も削減できましたので、今後も中止とし、効率的に事業を進めていきたいと思ひます。</p>																																																																			
			〔事業方向性〕																																																																			
			継続																																																																			
			〔予算方向性〕																																																																			
			継続																																																																			
			事業開始年度																																																																			
			事業終了(予定)年度																																																																			

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価					
	要改善	要検討	妥当	良好	的 確
準備等	1	2	③	4	5
運営面	1	2	3	④	5
事業内容	1	2	3	④	5
財政面	1	2	3	④	5
目的達成度	1	2	3	④	5
総 体	1	2	3	④	5

☆ 点検・評価に対するコメント等

<p>式典については、現状において特に検討を要するものは無いと思ひますが、若者が集まる折角の機会なので、定住促進の取り組みを図っていただきたい。なお、定住促進については、雇用先の確保が重要な問題であり、これらを一体化した町の取り組みが必要と考えます。</p>

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号				
款	10	教育費	1 目的及び効果 町内文化財の保護助成を通して、各種団体による活用から厚真町の歴史と伝統文化を町内外に紹介して頂くこと。町指定文化財、町や地域の歴史を通してふるさと厚真町への郷土愛を育み、心豊かな人材育成と厚真町居住への「心の満足度」及び地域コミュニティを高めることを目的としています。	2 事業主体 厚真町教育委員会	☆ 決算額の推移 決算額の状況		207				
項	4	社会教育費			年度	H19	H20	H21	H22	H23	事業 業務 名 名
目	2	文化財保護費			決算額	192	284	2,268	116		
節		金額(千円)			対前年比		92	1,984	-2,152		文化財保護 収集事業
9旅費		4			☆ 指標で表せない効果等 文化財の活用は各団体によって行われており、各地区の世代間交流の機会、コミュニティ維持に効果があります。塊打太鼓の町内外での公演は厚真町のPRとしても効果的。予算措置がないものの、郷土資料(足踏み式脱穀機、唐箕等)を利用し、中央小学校で農機具体験学習会を地域の高齢者ボランティアの協力で指導を頂き実施しています。						
12役員費		51			☆ 事業評価(自己評価)						
19負担金補助及び交付金		63			☆ 点数による評価						
計		118			要改善	要検討	妥当	良好	的確		
補助金等の有無		有・無			準備等	1	2	③	4	5	
〔有の場合〕					運営面	1	2	③	4	5	
名称			事業内容	1	2	③	4	5			
金額			財政面	1	2	③	4	5			
〔事務・事業の写真等〕			目的達成度	1	2	③	4	5			
			総体	1	2	③	4	5			
			☆ コメントによる評価		助成団体には、最低限の助成の中で一人一人の意欲に支えられて有形無形文化財の保護、伝承、活用を図って頂いています。		〔事業方向性〕				
			文化財等の展示等については、スペースが不足している現状の中でも、工夫をして進めたいと考えています。				継続				
			点検・評価にあたって特記する事項等				〔予算方向性〕				
			文化財の保護助成団体の活用度合いが評価につながると考えられます。今後、後継者育成のための方策等が課題です。				継続				
							事業開始年度				
							事業終了(予定)年度				

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	郷土芸能等の継承者も高齢化しており、今後は活動助成金だけではなく、後継者育成等に関する行政の取り組みが必要と考えられます。
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号																																																														
款	10	教育費	1 目的及び効果 文化財保護法に基づいた開発行為による記録保存発掘調査。発掘調査を計画通り実施することは工事促進の一環となり、厚真町の歴史の解明につながります。できるだけ一般公開、学会発表等の機会に努めています。	2 事業主体 厚真町教育委員会	3 事業内容及び対象者等 埋蔵文化財の発掘調査。遺跡の広がり全域が発掘調査対象 フチャラセナイ遺跡・ヲチャラセナイチャシ跡(3,470㎡) チャシ跡1、大型住居跡4(うち1基は重複)、遺物集中区1、 落とし穴他 出土遺物：土器、石器、金属製品ほか約44,000点 オニキシベ5遺跡(2,283㎡) 土坑7、落とし穴15、たき火跡6ほか 出土遺物：土器、石器、礫ほか約16,000点 発掘調査作業員46名、整理作業員25名 オニキシベ2遺跡発掘調査報告書(567ページ)の刊行 埋蔵文化財事務、発掘調査原因者(室土現)および道教委との調整	4 その他事項 視察等：一般町民団体12名、発掘成果展約150名以上、札幌市民団体14名、札幌市民5名、福井県修学旅行生4名、町民体験発掘20名(2回のべ人数)、カムイノミ60名、富良野市民10名、平取町民17名、田舎暮らし体験ツアー15名、公的機関視察対応各種・講話・体験事業多数。合計：約720名(ダム事業関連のみ)。このほか、各大学にて厚真町の発掘成果を大学の講義に取り込まれ始めている。また2月には、アイヌ文化期の出土品が国指定重要文化財選定候補の「重要考古資料」に認定されています。	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>110,000</td> <td>123,500</td> <td>25,000</td> <td>100,110</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>13,500</td> <td>-98,500</td> <td>75,110</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ☆ 指標で表せない効果等 道補助事業の発掘調査費のうち約60%が人件費であり、雇用機会となっています。その他借上業務、消耗品購入等を含めると約80%の地域還元率の事業となっています。また、厚真町のPR資源、教育資源としても活用が進んでいます。	年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	110,000	123,500	25,000	100,110		対前年比		13,500	-98,500	75,110		☆ 事業評価(自己評価) ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> ☆ コメントによる評価 雇用創出面では、良好な実績。周知活動では90%以上が町外からの参加であり、町民の参加、周知活動に改善を必要としますが、町外への厚真町のPRとしては費用対効果の面でも有効な手法をとっています(予算なしでもできる新聞報道活用等)。また、その効果は、見学視察来町者数として表れています。		要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	3	④	5	運営面	1	2	3	④	5	事業内容	1	2	3	④	5	財政面	1	2	3	④	5	目的達成度	1	2	3	④	5	総体	1	2	3	④	5	208 事業名 埋蔵文化財発掘事業(厚幌ダム)
年度	H19	H20						H21	H22	H23																																																											
決算額	110,000	123,500						25,000	100,110																																																												
対前年比		13,500						-98,500	75,110																																																												
	要改善	要検討						妥当	良好	的確																																																											
準備等	1	2						3	④	5																																																											
運営面	1	2						3	④	5																																																											
事業内容	1	2						3	④	5																																																											
財政面	1	2						3	④	5																																																											
目的達成度	1	2						3	④	5																																																											
総体	1	2						3	④	5																																																											
項	4	社会教育費																																																																			
目	2	文化財保護費																																																																			
節		金額(千円)																																																																			
3職員手当等		413																																																																			
4共済費		7,763																																																																			
7賃金		56,778																																																																			
8報償費		150																																																																			
9旅費		43																																																																			
11需用費		4,009																																																																			
12役務費		350																																																																			
13委託料		23,339																																																																			
14使用料及び賃借料		7,265																																																																			
計		100,110																																																																			
補助金等の有無		(有)・無																																																																			
〔有の場合〕																																																																					
名称	厚幌ダム埋蔵文化財発掘調査委託金																																																																				
金額	100,110																																																																				
〔事務・事業の写真等〕																																																																					
点検・評価にあたって特記する事項等					☆ 事業方向性 継続 ☆ 予算方向性 継続																																																																
ダム事業推進としての調査以外に雇用、その他宿泊や飲食等の経済波及効果もあります。道内外の専門家や大学、町外の考古学ファンなどからは、注目を浴び高い評価を得ている町で、単なる行政発掘調査にとどまらず、町内の社会教育資源、学校教育資源、まちづくり資源としての提案、活用が進みつつあります。これらの成果も調査・事務嘱託職員、臨時職員の一一人の資質向上に基づく成果と考えます。課題としては、ホームページ作成を実行しておらず、町外者からの情報発信の要望が上がっています。					事業開始年度 平成14年度 事業終了(予定)年度 平成28年度																																																																

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	3	④	5	発掘調査の成果として、非常に重要な歴史的価値のある遺物が出土されており、事業の効果は大変大きいと考えます。 なお、今後はホームページを活用した発掘成果の情報発信に努めるとともに、出土品の保管及び展示方法について検討していただき い。
運営面	1	2	3	④	5	
事業内容	1	2	3	④	5	
財政面	1	2	3	④	5	
目的達成度	1	2	3	④	5	
総体	1	2	3	④	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号																																											
款	9	教育費	1 目的及び効果 文化財保護法に基づいた開発行為による記録保存発掘調査。発掘調査を計画通り実施することは工事促進の一環となり、厚真町の歴史の解明につながります。できるだけ、一般公開、学会発表の機会を設けています。 2 事業主体 厚真町教育委員会 3 事業内容及び対象者等 平成21年度の埋蔵文化財発掘調査出土品を対象とした報告書刊行業務。調査担当者（嘱託職員）1名 2ヶ月間（4・5月）幌内5遺跡・富里2遺跡・ニタツナイ遺跡発掘調査報告書（301ページ）の刊行 埋蔵文化財事務、発掘調査原因者（室開建）および道教委との調整 4 その他事項 平成22年度は国の予算の関係上、発掘調査は実施しなかったが、本郷の遺跡調査整理事務所は厚幌導水路建設事業関連の行政視察のコースとなっており、事業者は、発掘調査後の公開活用についても関心を示しています。	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>57,754</td> <td>56,574</td> <td>60,703</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>-1,180</td> <td>4,129</td> <td>-58,703</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	57,754	56,574	60,703	2,000		対前年比		-1,180	4,129	-58,703		209																									
年度	H19	H20		H21	H22	H23																																												
決算額	57,754	56,574		60,703	2,000																																													
対前年比		-1,180		4,129	-58,703																																													
項	4	社会教育費		埋蔵文化財発掘事業（厚幌導水路）	☆ 指標で表せない効果等 国費補助事業の発掘調査費のうち約60%が人件費であり、雇用機会となっています。その他借上業務、消耗品購入等を含めると約80%の地域還元率の事業となっています。			事業名 埋蔵文化財発掘事業（厚幌導水路）																																										
目	2	文化財保護費			☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	③	4	5	事業内容	1	2	③	4	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	3	④	5	総体	1	2	③	4	5
	要改善	要検討			妥当	良好	的確																																											
準備等	1	2			③	4	5																																											
運営面	1	2			③	4	5																																											
事業内容	1	2			③	4	5																																											
財政面	1	2	③		4	5																																												
目的達成度	1	2	3		④	5																																												
総体	1	2	③		4	5																																												
節		金額（千円）	☆ コメントによる評価 発掘調査は工期、技術的側面では達成していますが、事務的な面では煩雑化になっています。			〔事業方向性〕 継続 〔予算方向性〕 継続（H23は中断）																																												
4共済費		110	点検・評価にあたって特記する事項等			事業開始年度 平成19年度 事業終了（予定）年度 平成28年度																																												
7賃金		787	国の農業関連予算削減に伴い当事業も大幅に縮減し、調査担当者1名のみ2ヶ月間の雇用を確保できる予算額でした。																																															
11需用費		1,057																																																
13委託料		10																																																
14使用料及び賃借料		36																																																
計		2,000																																																
補助金等の有無		○・無																																																
〔有の場合〕																																																		
名称	厚幌導水路埋蔵文化財発掘調査委託金																																																	
金額	2,000																																																	
〔事務・事業の写真等〕																																																		

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	国の事業予算削減により、前年度発掘調査分の成果報告書作成業務のみとなっていますが、発掘調査の成果について関心が持たれていますので、ホームページ等を活用した情報発信に努めるとともに、出土品の保管及び展示方法について検討していただきたい。
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	3	④	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔 事務・事業の概要 〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号					
款	10	教育費	1 目的及び効果 地域における公民館活動の振興促進を図るため、地域の集会施設（24館）を地域公民館（厚真町公民館分館）に指定しており、このうち、教育委員会が所管している生活会館及びマナビィハウス（21館）の建物維持管理に要する経費で、地域住民等が快適に利用できる集会施設の提供と適正な維持管理による建物寿命の延命化を図ることを目的としています。	2 事業主体 厚真町教育委員会	☆ 決算額の推移 決算額の状況		210					
項	4	社会教育費			年度	H19	H20	H21	H22	H23	事業 業務 名 名	
目	3	公民館費			決算額	5,617	5,631	8,282	3,367			
節		金額（千円）			対前年比		14	2,651	-4,915		公民館分館管理事業	
11需用費		100			☆ 指標で表せない効果等 特記なし							
12役務費		1,125			☆ 事業評価（自己評価）							
19負担金補助及び交付金		2,208			☆ 点数による評価		要改善	要検討	妥当	良好		的確
計		3,433			準備等	1	2	③	4	5		〔事業方向性〕
補助金等の有無		有・無			運営面	1	2	③	4	5		
〔 有 の 場 合 〕					事業内容	1	2	③	4	5		〔予算方向性〕
名称			財政面	1	2	③	4	5	継続			
金額			目的達成度	1	2	③	4	5	事業開始年度 昭和51年度 事業終了（予定）年度			
〔 事務・事業の写真等 〕			総体	1	2	③	4	5				
			3 事業内容及び対象者等 (1)生活会館等修繕料（1館）95千円 (2)火災保険の加入（21館）1,067千円 (3)井戸水利用施設の水質検査（東和、高丘、幌内）19千円 (4)地域公民館管理費補助金（21館）2,038千円 (5)桜丘生活会館前石碑解体費補助金 90千円 (6)生活会館等備品購入補助金（1館）58千円		☆ コメントによる評価 ・会館の管理運営については、地域自治会に管理委託をしており、運営面では妥当と考えます。 ・会館の維持補修については、臨時交付金を活用した「公民館分館整備事業」により補修計画とおりに実施できています。							
			点検・評価にあたって特記する事項等									
			施設の適正な維持管理としては、経年劣化に対応するため、定期的に外壁塗装や屋根塗装を行うことが望ましく、今後も補修計画に沿った維持管理を行い、少しでも建物寿命の延命化を図る必要があります。また、地域の学びの場としての会館の利用度を高くしていくことが必要であります。									

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	施設の適正な維持管理のため、計画的な補修に努力願います。また、地域公民館活動の推進を図っていただきたい。
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

グループ名	社会教育グループ	事業番号
-------	----------	------

平成22年度 予算の状況		
款	10	教育費
項	4	社会教育費
目	5	青少年センター費
節		金額(千円)
4共済費		20
7賃金		2,181
8報償費		115
9旅費		18
11需用費		3,527
13委託料		239
14使用料及び賃借料		210
18備品購入費		12
19負担金補助及び交付金		10
計		6,332
補助金等の有無		有・(無)
〔有の場合〕		
名称		
金額		
〔事務・事業の写真等〕		

〔事務・事業の概要〕	
1 目的及び効果	幼児から高齢者まで、幅広い年代の人が本に触れる機会を持ち、本に親しんでもらえるよう読書環境を整え、読書活動を推進します。
2 事業主体	厚真町教育委員会
3 事業内容及び対象者等	<p>(1) ブックスタート(平成15年度～) 平成22年度対象者数 36人 乳児健診の機会を利用し、健診の待ち時間や健診終了後等に保護者と乳幼児に本の読み聞かせの大切さの説明と読み聞かせの実演を交えて絵本等を手渡す。47千円</p> <p>(2) 図書室夜間延長(平成15年度～) 通常の開館時間は午前9時から午後5時までのところ、火・木曜日は午後7時までで開館することによって図書室の利用拡大を図る。 平成22年度利用者数 1,796人(夜間開館日数 99日) 159千円</p> <p>(3) 読書感想文コンクール 平成22年度応募数 178点 町内の小学校に籍児童が対象。冬季休業期間中に児童への読書の普及を図るとともに、多くの本に触れることによって、情操豊かな児童を育てる。123千円</p> <p>(4) 移動図書 平成6年にライオンズクラブより寄贈を受けた移動図書車を活用し、町内の小学校(中央小学校を除く)へは毎月2回、季節保育所へは毎月1回巡回し、本の貸し出しや読み聞かせ等を行う。</p> <p>(5) 図書資料購入・整備 図書室の利用拡大を図るため、一般書・児童書・雑誌・視聴覚資料(DVD)等を購入し、青少年センター及び厚真南開館図書室に蔵書・配架する。 平成22年度蔵書数 一般書 20,308冊、児童書13,557冊、雑誌 1,168冊、視聴覚 1,117本 3,043千円</p> <p>(6) 図書室及び図書等の維持管理 2,855千円</p> <p>(7) 読み聞かせに係るサポート及び経費の支出 6千円</p> <p>(8) 道立図書館での図書選定及び打ち合わせ等 12千円</p> <p>(9) 胆振管内及び北海道図書館協議会に関する経費(役員会・研修会・負担金)の支出 9千円</p>
点検・評価にあたって特記する事項等	
平成22年度の青少年センター図書室の貸出数は21,024冊、利用者は5,031人で、1日の平均利用者数は14.5人、平均貸出数は60.4冊(1人あたり約4冊)となっており、年々増加傾向にあります。また、夜間延長時間の1日平均利用者数は18.1人と、通常の開館時間よりも多く利用されており、こちらも増加傾向にあります。このことから、夜間延長開館は図書室の利用拡大に有効に働いていることが分かります。また、読書推進の一環として、平成21年度には図書室をリニューアルしました。更に、平成23年度中には図書室の改修工事も予定されており、利用しやすい図書室づくりを進めていきます。	

☆ 決算額の推移					
決算額の状況					
年度	H19	H20	H21	H22	H23
決算額	4,500	4,519	5,942	6,254	
対前年比		19	1,423	312	
☆ 指標で表せない効果等 特記なし					
☆ 事業評価(自己評価)					
☆ 点数による評価					
	要改善	要検討	妥当	良好	的確
準備等	1	2	3	④	5
運営面	1	2	3	④	5
事業内容	1	2	3	④	5
財政面	1	2	3	④	5
目的達成度	1	2	3	④	5
総体	1	2	3	④	5
☆ コメントによる評価					
【ブックスタート】 乳幼児期から本に触れ、親しむことは大切で、子どもの読書のきっかけづくりとしてとても良い事業だと思います。また、読み聞かせボランティアによる読み聞かせを交えながらの配付や、子育てや読み聞かせの体験談等の話ができることは、読書推進だけでなく、子育て支援の面でも大変効果的だと思います。					
【図書室夜間延長】 仕事等で通常の開館時間内に利用できない方に利活用されており、年々増加傾向にあります。また、ギャラリー等で展示等が開催されている期間は、そちらへの集客にもつながっています。					
【移動図書】 子ども達が楽しみにしており、貸し出し数も多いこと、また、移動手段がなく図書室に来られない幼児・児童等への補助にもなっていることから、読書推進の一環として重要と感じています。今後も継続していくべきだと思います。					
〔事業方向性〕					
継続					
〔予算方向性〕					
継続					
事業開始年度					
事業終了(予定)年度					

211	事業番号
事務 業務 名 目	事業名
図書 整備 一 般 事 業	事業名
〔事業方向性〕	継続
〔予算方向性〕	継続
事業開始年度	
事業終了(予定)年度	

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	3	④	5	
運営面	1	2	3	④	5	
事業内容	1	2	3	④	5	
財政面	1	2	3	④	5	
目的達成度	1	2	3	④	5	
総体	1	2	3	④	5	

☆ 点検・評価に対するコメント等	
読書活動を推進するための取り組みとして、大変有効な事業内容であると思います。今後も町民のニーズに沿った取り組みと、利用しやすい図書室の環境整備に努めていただきたい。	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔 事務・事業の概要 〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号																																											
款	10	教育費	1 目的及び効果 町民が陶芸を中心とした創作活動を通じて、その能力を開発し、技術の伝承を図り、豊かな生きがいのある生活を確立することを目的としています。	2 事業主体 厚真町教育委員会	☆ 決算額の推移 決算額の状況			212																																										
項	4	社会教育費			年度 H19 H20 H21 H22 H23			事業 業務 名 名																																										
目	6	創作館費			決算額 2,721 2,541 3,052 2,071																																													
節		金額(千円)			対前年比 / -180 511 -981			創作館 運営 事業																																										
7	賃金	196			☆ 指標で表せない効果等 過去には産業経済として、町の商工観光の目玉としての陶芸品・木工品の創作活動が行われ、各イベントでは農産物と一緒に販売されていた経緯があります。そこで、教育委員会に所管替えになってからは、生涯学習の位置つけて「いつでも・どこでも・誰とでも」創作活動がなされることから、陶芸同好会だけでなく、多くの方の利用を目指す必要があります。																																													
8	報償費	576			☆ 事業評価(自己評価) ☆ 点数による評価																																													
11	需用費	1,169			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>④</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	3	④	5	運営面	1	2	3	④	5	事業内容	1	2	3	④	5	財政面	1	2	3	④	5	目的達成度	1	2	3	④	5	総体	1	2	3	④	5
	要改善	要検討			妥当	良好	的確																																											
準備等	1	2			3	④	5																																											
運営面	1	2			3	④	5																																											
事業内容	1	2			3	④	5																																											
財政面	1	2			3	④	5																																											
目的達成度	1	2			3	④	5																																											
総体	1	2	3	④	5																																													
12	役務費	89	(6)開館時間 火曜日～土曜日(祝日、年末年始を除く)10時～16時																																															
13	委託料	209	(7)利用実績 ①陶芸同好会/通年利用(延べ1,159人) ※会員以外の個人利用者数も含まれており、うち町外者は249人 ②教委主催陶芸教室(一般町民対象)/15名参加 ③教委主催外部講師による陶芸教室(同好会員対象)/14名参加 ④いきいきサポート陶芸教室/32名参加 ⑤パワリハ陶芸教室/28名参加 ⑥中央小学校陶芸教室2回/61名参加 ⑦上厚真小陶芸教室2回/42名参加 ⑧学童陶芸教室/22名 (8)陶芸釜の稼働実績 ①素焼き8回 ②本焼き15回 ③還元焼き1回 (9)創作館内で同好会員作品展を常時開催しています。																																															
計		2,239	☆ コメントによる評価 管理人を廃止しての創作館運営事業ではありますが、陶芸同好会員の創作活動はもとより、社会教育事業としての陶芸教室や他課や他団体に声かけをし利用拡大をしたところ、事業効果は大であったと判断でき、運営目的の達成感を感じられました。																																															
補助金等の有無		有・無	〔 有 の 場 合 〕			〔事業方向性〕																																												
名称			点検・評価にあたって特記する事項等			継続																																												
金額			陶芸教室を開催していくことで、同好会員に限らず多くの町民に創作館の存在を知ってもらう必要があります。外部講師による教室を開催することで会員の技術も向上し、日々技術を磨くことで、作品を多くの人に観ていただきたいという気持ちになります。各陶芸教室の窯焼きは同好会員にお願いしていますが、責任をもって従事してくれています。電気窯もかなり劣化してきていますので、入替え時期等の検討も必要と思われます。			〔予算方向性〕																																												
〔 事務・事業の写真等 〕						継続																																												
						事業開始年度																																												
						事業終了(予定)年度																																												

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	3	④	5	このような施設は、特定の利用者に偏ってしまいがちですが、できる限り多くの町民に利用してもらい施設の有効利用が図られるよう、今後も陶芸同好会員の協力をいただき、初心者向け陶芸講座等の開設に努めていただきたい。
運営面	1	2	3	④	5	
事業内容	1	2	3	④	5	
財政面	1	2	3	④	5	
目的達成度	1	2	3	④	5	
総体	1	2	3	④	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況		〔事務・事業の概要〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号																																																		
款	10	教育費	1 目的及び効果 スポーツ振興法第16条の規定に基づき町の設置規則により、委員12名で組織されています。 町民のニーズに応じてスポーツの実技指導を行ったり、教育機関やその他行政機関が行うスポーツに関する行事又は事業に協力します。 また、住民一般に対してスポーツについての啓蒙を行うとともに、住民のスポーツ活動促進のための組織の育成を図ります。 集まりんピックの企画運営やミナレポール大会の運営、体育指導委員会議で体育について協議検討し、体育行政への助言を行います。	☆ 決算額の推移 決算額の状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>決算額</td> <td>943</td> <td>944</td> <td>942</td> <td>1,158</td> <td></td> </tr> <tr> <td>対前年比</td> <td></td> <td>1</td> <td>-2</td> <td>216</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		年度	H19	H20	H21	H22	H23	決算額	943	944	942	1,158		対前年比		1	-2	216		213																																
年度	H19	H20		H21	H22	H23																																																		
決算額	943	944		942	1,158																																																			
対前年比		1		-2	216																																																			
項	5	保健体育費		2 事業主体 厚真町教育委員会	☆ 指標で表せない効果等 特記なし		事業名 体育指導委員費																																																	
目	1	体育振興費			3 事業内容及び対象者等 (1)体育指導委員会議(年2回)延べ24名参加 報酬192千円 (2)管内体育指導委員連絡協議会総会 1名参加 室蘭市 8千円 (3)体育行事の企画および運営 ①マラソン大会 1名参加 報酬 8千円 ②集まりんピック 延べ29名参加 報酬 232千円 ③ミナレポール大会 延べ33名参加 報酬 264千円 (4)北海道体育指導委員研究協議会 2名参加 網走市 報酬 32千円 (5)胆振管内体育指導委員研修会 5名参加 白老町 報酬 72千円 (6)管内体育指導委員連絡協議会負担金の納入 22千円	☆ 事業評価(自己評価) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">☆ 点数による評価</th> <th colspan="5">要改善 要検討 妥当 良好 的確</th> </tr> <tr> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		☆ 点数による評価	要改善 要検討 妥当 良好 的確					要改善	要検討	妥当	良好	的確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	③	4	5	事業内容	1	2	③	4	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	③	4	5	総体	1	2	③	4	5	〔事業方向性〕 継続 〔予算方向性〕 継続	
☆ 点数による評価	要改善 要検討 妥当 良好 的確																																																							
	要改善	要検討				妥当		良好	的確																																															
準備等	1	2				③		4	5																																															
運営面	1	2				③		4	5																																															
事業内容	1	2	③			4		5																																																
財政面	1	2	③			4		5																																																
目的達成度	1	2	③			4		5																																																
総体	1	2	③			4		5																																																
節		金額(千円)	4 その他事項 委員定数 12名	☆ コメントによる評価 法令に基づく設置規則による委員組織であり、このような事業内容での継続は妥当と考えますが、各委員の資質向上のための研修会や講習会等の参加奨励が必要と考えます。		事業開始年度 昭和38年度 事業終了(予定)年度																																																		
1	報酬	1,056		点検・評価にあたって特記する事項等																																																				
9	旅費	167		若手委員の育成が必要であると考えます。																																																				
19	負担金補助及び交付金	22																																																						
計		1,245																																																						
補助金等の有無		有・無																																																						
〔有の場合〕																																																								
名称																																																								
金額																																																								
〔事務・事業の写真等〕																																																								

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価					
	要改善	要検討	妥当	良好	的確
準備等	1	2	③	4	5
運営面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財政面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総体	1	2	③	4	5

☆ 点検・評価に対するコメント等

法令に基づき町の設置規則により委嘱されている委員であり、その事業内容については自己評価のとおり妥当であると考えます。
 なお、若手委員の育成など、事業の活性化にも努めていただきたい。

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号				
款	10	教育費	1 目的及び効果 全町民を対象として、集まりンピック（町民体育祭）を開催し、町民の健康の維持増進を図るとともに、町民の親睦と融和を図り、町の活性化の一助とすることを目的としています。	2 事業主体 主催：厚真町 厚真町教育委員会 主管：第10回集まりンピック実行委員会 後援：厚真町体育協会 協力：各自治会	☆ 決算額の推移 決算額の状況		214				
項	5	保健体育費			年度	H19		H20	H21	H22	H23
目	1	体育振興費			決算額	563		522	564	824	
節	金額（千円）				対前年比			-41	42	260	
8報償費	798				☆ 指標で表せない効果等 特記なし						
11需用費	37		3 事業内容及び対象者等 (1)開催日・場所／8月22日（日）、かしわ公園野球場 (2)参加人数／13自治会 600人 (3)種目数／自由参加 6種目、自治会参加 6種目 ※町制施行50周年記念・町民体力づくりの町宣言30周年記念として全員参加種目1種目、北海道警察カラーガード隊によるアトラクション演奏（昼休み）を実施 (4)参加賞／ポイント制商品券（会場内で商品交換） (5)経費／参加賞 798千円 消耗品費 36千円 アンプ借上料 2千円 計 836千円		☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価			町民体育祭開催事業			
14使用料及び賃借料			準備等 1 2 ③ 4 5 運営面 1 2 ③ 4 5 事業内容 1 2 3 ④ 5 財政面 1 2 3 ④ 5 目的達成度 1 2 3 ④ 5 総体 1 2 3 ④ 5								
計	835		4 その他事項 大会プログラムの企画、大会運営には、体育指導委員会が主体的に参画しています。		☆ コメントによる評価 近年、減少傾向にあった参加自治会数も増加に転じており、各自治会への積極的な働きかけやポイント制商品券の発行、誰でも楽しみながら参加できるプログラム企画といった努力や工夫が、功を奏す結果につながっています。また、町制施行50周年記念事業として、全員参加種目を新規に実施することで、内容の充実を図ることができたと思います。				〔事業方向性〕 継続		
補助金等の有無	有・無		点検・評価にあたって特記する事項等						〔予算方向性〕 継続		
名称	〔有の場合〕		平成22年度の本事業は「町制施行50周年記念並びに町民体力づくりのまち宣言30周年記念事業」として実施したこともあり、例年以上に内容の充実を図ることができました。次年度以降は、今年度のような予算増等の措置を見込むことは難しいことから、引き続き自治会に対して積極的な参加呼びかけや内容のさらなる工夫・充実が不可欠です。						事業開始年度 昭和41年度 事業終了（予定）年度		
金額											
〔事務・事業の写真等〕											

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	町民体育祭としては第45回となる歴史のある体育行事であり、幼児から高齢者まで幅広い年代が一堂に集う行事は、大変貴重な行事の一つであると考えますので、事業の継続・発展に努めていただきたい。
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	3	④	5	
財政面	1	2	3	④	5	
目的達成度	1	2	3	④	5	
総体	1	2	3	④	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号				
款	10	教育費	1 目的及び効果 多様なスポーツの機会を提供することで、町民の体力向上と健康づくりに資するとともに、各種事業の参加者同士がグループをつくったり、技術向上のために教え合うなどして、交流のきっかけづくりの場となることを目指しています。	2 事業主体 厚真町教育委員会	☆ 決算額の推移			215			
項	5	保健体育費			決算額の状況						
目	1	体育振興費			年度	H19	H20		H21	H22	H23
節		金額(千円)			決算額	756	767		686	573	
7	賃金	17			対前年比		11		-81	-113	
8	報償費	493			☆ 指標で表せない効果等 特記なし						
11	需用費	58			☆ 事業評価(自己評価)						
13	委託料	42			☆ 点数による評価						
計		610				要改善	要検討		妥当	良好	的確
補助金等の有無		有・無			準備等	1	2		③	4	5
〔有の場合〕			運営面	1	2	③	4	5			
名称			事業内容	1	2	③	4	5			
金額			財政面	1	2	③	4	5			
〔事務・事業の写真等〕			目的達成度	1	2	③	4	5			
			総体	1	2	③	4	5			
			☆ コメントによる評価								
			事業内容については、各シーズンに合わせたスポーツ事業となっており、参加状況から判断しても妥当と考えます。								
			点検・評価にあたって特記する事項等								
			町民のニーズを的確に把握し、多くの町民が参加できるよう工夫していくことが重要と考えています。								
			〔事業方向性〕 継続								
			〔予算方向性〕 継続								
			事業開始年度								
			事業終了(予定)年度								

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的確	
準備等	1	2	③	4	5	町民がスポーツに親しみ、健康の維持増進を図るために大変有効な事業内容であると思います。今後も参加者の拡大に向けた取り組みをしていただきたい。
運営面	1	2	③	4	5	
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号																																										
款	10	教育費	1 目的及び効果 地域スポーツの振興を図るため、各地区の学校体育施設を地域住民に開放し、町民の体力の向上と健康で明るい町づくりに資することを目的としています。 スポーツセンター及びスタードームではまかないきれないペースの確保 ・開放実績 133日（延べ1,812人）	2 事業主体 厚真町教育委員会	3 事業内容及び対象者等 5月～2月までの10ヶ月間を開放期間とし、午後7時～午後9時までの2時間とする。夏季休業及び冬季休業は開放しない。 対象者は、青少年団体及び社会体育団体、スポーツ活動及びレクリエーション活動を行う目的で構成されている団体が利用できます。 各小中学校教職員が管理人となり鍵の開閉等を依頼している。 富野小学校 10日間 80人、上厚真小学校 31日間 611人 軽舞小学校 60日間 501人、厚南中学校 32日間 620人	4 その他事項 管理人に1日単位で謝礼（1日につき1,500円）	☆ 決算額の推移 決算額の状況 年度 H19 H20 H21 H22 H23 決算額 306 248 228 200 対前年比 $\frac{1}{2}$ -58 -20 -28	216																																									
項	5	保健体育費																																															
目	1	体育振興費																																															
節	金額（千円）																																																
8報償費	276																																																
計	276																																																
補助金等の有無	有・無																																																
〔有の場合〕																																																	
名称																																																	
金額																																																	
〔事務・事業の写真等〕																																																	
点検・評価にあたって特記する事項等					☆ 事業評価（自己評価） ☆ 点数による評価 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>要改善</th> <th>要検討</th> <th>妥当</th> <th>良好</th> <th>的 確</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備等</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>運営面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>財政面</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>目的達成度</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>総 体</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>			要改善	要検討	妥当	良好	的 確	準備等	1	2	③	4	5	運営面	1	2	③	4	5	事業内容	1	2	③	4	5	財政面	1	2	③	4	5	目的達成度	1	2	③	4	5	総 体	1	2	③	4	5	学校開放事業 〔事業方向性〕 継続 〔予算方向性〕 継続
	要改善	要検討	妥当	良好	的 確																																												
準備等	1	2	③	4	5																																												
運営面	1	2	③	4	5																																												
事業内容	1	2	③	4	5																																												
財政面	1	2	③	4	5																																												
目的達成度	1	2	③	4	5																																												
総 体	1	2	③	4	5																																												
各小中学校の教頭が管理人となり施設の管理及び利用者のマナー等の指導にあっています。学校からは専属の管理人設置を望む声がありますが、人材確保等の課題もあり、難しい状況となっています。					事業開始年度 H元年 事業終了（予定）年度																																												

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等
	要改善	要検討	妥当	良好	的 確	
準備等	1	2	③	4	5	学校施設の開放は、町民がスポーツに親しむ場の提供として、大変有効な事業であります。
運営面	1	2	③	4	5	なお、学校から要望のある管理人の設置については、学校と十分協議をしていただきたい。
事業内容	1	2	③	4	5	
財政面	1	2	③	4	5	
目的達成度	1	2	③	4	5	
総 体	1	2	③	4	5	

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

平成22年度 予算の状況			〔事務・事業の概要〕		グループ名	社会教育グループ	事業番号					
款	10	教育費	1 目的及び効果 町民の心身の健全な発達、健康の維持増進及びスポーツ・文化の振興を図るためにスポーツセンター・スタードームを管理し、利用者に安全にスポーツ活動の場を提供します。 本事業の成果により、利用者にとって必要な利便性や機能は維持されており、多大な効果をあげています。 ・冬期間、町外者の利用も多く使用料は4,244千円となっています。 ・定期的に夏期（5月～10月）25団体が利用 冬期（11月～4月）26団体が利用 ・年間利用者数 42,686人 （スポーツセンター17,701人、スタードーム24,985人）	2 事業主体 厚真町教育委員会	☆ 決算額の推移			217 事業名 スポーツセンター・スタードーム管理事業				
項	5	保健体育費			決算額の状況							
目	2	体育施設費			年度	H19	H20		H21	H22	H23	
節		金額（千円）			決算額	23,931	22,722		22,127	20,751		
4	共済費	613			対前年比		-1,209		-595	-1,376		
7	賃金	4,945			☆ 指標で表せない効果等				特記なし			
11	需用費	13,324			☆ 事業評価（自己評価）							
12	役員費	602			☆ 点数による評価							
13	委託料	2,035				要改善	要検討			妥当	良好	的 確
14	使用料及び賃借料	99			準備等	1	2			③	4	5
18	備品購入費	112	運営面	1	2	③	4	5				
計		21,730	事業内容	1	2	③	4	5				
補助金等の有無		有・無	財政面	1	2	③	4	5				
〔有の場合〕			目的達成度	1	2	③	4	5				
名称			総 体	1	2	③	4	5				
金額			☆ コメントによる評価			両施設において、町内外からの利用者も多く、スポーツ振興に効果が現れています。						
〔事務・事業の写真等〕			4 その他事項			〔事業方向性〕						
			当該管理事業とは別に、整備事業として、平成20年度に実施したスポーツセンター耐震診断の結果耐震改修が必要であると判定されたことから、これに伴い耐震改修工事に向けての設計委託と、建物劣化に伴う大規模改修工事設計委託を実施しました。 また、スタードームについては、アリーナの雨漏りのため屋上防水改修工事を実施しています。			継続						
			点検・評価にあたって特記する事項等			〔予算方向性〕						
			町民及び町外に幅広くスポーツの場を提供することは、公共の役割として妥当ですが、使用料や指定管理者制度を含め今後の課題です。			継続						
						事業開始年度						
						スボセンS54、ドームH7						
						事業終了（予定）年度						

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価						☆ 点検・評価に対するコメント等					
	要改善	要検討	妥当	良好	的 確						
準備等	1	2	③	4	5	利用者も多く、スポーツ振興の場として有効に機能していると思います。特に町外者の利用も多く、交流施設としての役割も十分に果たしていると思います。					
運営面	1	2	③	4	5	なお、使用料や指定管理者制度については、体育施設単独ではなく、公共施設全体の課題として検討すべきと考えます。					
事業内容	1	2	③	4	5						
財政面	1	2	③	4	5						
目的達成度	1	2	③	4	5						
総 体	1	2	③	4	5						

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シート〔平成22年度事務・事業分〕

グループ名	社会教育グループ	事業番号
-------	----------	------

平成22年度 予算の状況		
款	10	教育費
項	5	保健体育費
目	2	体育施設費
節		金額(千円)
11	需用費	301
計		301
補助金等の有無	有	・(無)
〔有の場合〕		
名称		
金額		
〔事務・事業の写真等〕		

〔事務・事業の概要〕	
1	<p>目的及び効果 町民の体力の向上とスポーツを通じた余暇の有効活用および健康の維持増進を図るため、新町・本郷・上厚真のパークゴルフ場を開設しています。 町内外の利用者が多く、体力の増進やコミュニティの場として有効的に活用されています。</p> <p>2 事業主体 厚真町教育委員会</p> <p>3 事業内容及び対象者等 開設期間 4月15日～11月15日 (本郷いこいの森は5月1日～10月31日) 時間 日の出～日没(新町のみ夜間照明有り、町内者限定) 使用料 無料 新町運動広場パークゴルフ場 215日間 7,596人(利用台帳記載者のみ) 本郷いこいの森パークゴルフ場 184日間 370人(利用台帳記載者のみ) 上厚真パークゴルフ場 215日間 2,127人(利用台帳記載者のみ) ※上記の人数は、団体利用者及び個人利用のうちパークゴルフ場使用簿に記載のあった人数となっています。</p> <p>4 その他事項 各種大会が盛んに行われており、パークゴルフ人口が増加しています。 各パークゴルフ場の使用料は、現在無料ですが、他のスポーツ施設との均衡もあり、有料化や管理人設置を含め検討が必要です。</p>

☆ 決算額の推移					
決算額の状況					
年度	H19	H20	H21	H22	H23
決算額	154	214	198	318	
対前年比		60	-16	120	
☆ 指標で表せない効果等 特記なし					
☆ 事業評価(自己評価)					
☆ 点数による評価					
	要改善	要検討	妥当	良好	的確
準備等	1	2	③	4	5
運営面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財政面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総体	1	2	③	4	5
☆ コメントによる評価 町内外からの利用者も多く、事業の効果が高いと考えます。					

218
事業番号
事業名
パークゴルフ場管理事業
〔事業方向性〕 継続
〔予算方向性〕 継続
事業開始年度
事業終了(予定)年度

点検・評価にあたって特記する事項等

町民及び町外に幅広くスポーツの場を提供することは公共の役割として妥当ですが、使用料や管理人設置を含め今後の課題です。

★厚真町教育委員会外部評価委員会点検・評価の概要

☆ 点数による評価					
	要改善	要検討	妥当	良好	的確
準備等	1	2	③	4	5
運営面	1	2	③	4	5
事業内容	1	2	③	4	5
財政面	1	2	③	4	5
目的達成度	1	2	③	4	5
総体	1	2	③	4	5

☆ 点検・評価に対するコメント等	
町内外の利用者も多く、事業効果としては非常に高いものがあると思います。	
なお、今後の課題として、使用料の徴収などがありますが、スポーツセンターと同様に体育施設単独ではなく、公共施設全体の課題として検討すべきと考えます。	